

第11回 全日本聴覚障害スキー技術選手権大会

開催要項

趣旨： スキーを愛好する聴覚障害者のスキー技術向上、ならびに相互の親睦を図る。

名称： 第11回全日本聴覚障害スキー技術選手権大会

会期： 2008年2月23日(土)～24日(日)

会場： 長野県 黒姫高原スノーパーク

主催： 特定非営利活動法人 全日本聴覚障害スキー指導員会

協賛： リオン補聴器販売(株)、(株)スキージャーナル、(株)ノースランド出版、
小賀坂スキー販売(株)、(株)ミナミ、(株)ICI石井スポーツ、(株)タナベスポーツ、
雪印乳業(株)、ファイテン(株)、(株)エヌ・ウェーブ、(株)モリヤマスポーツ、
(株)角谷スポーツ、オオイワスポーツ、
太郎館(菅平高原)、ピュア長坂(野沢温泉)
その他数社 (順不同・敬称略)

協力： (財)東京都スキー連盟加盟 東京デフスキークラブ

後援： (独行)福祉医療機構 障害者スポーツ支援基金

第11回 全日本聴覚障害スキー技術選手権大会

競技実施要項

1. 趣旨

この要項は、全日本聴覚障害スキー技術選手権大会の実施に必要な事項を定める。

2. 名称

全日本聴覚障害スキー技術選手権大会とする。

3. 区分

競技区分は次の4種類とする。

- ① 総合成績(年齢不問)女子の部
- ② " 男子の部
- ③ マスターズ男子の部(45歳以上)
- ④ マスターズ女子の部(40歳以上)

※総合成績は、マスターズ該当者も含む。

4. 期間

競技の期間は1日間を原則とする。

5. 競技規則

当該年度の(財)全日本スキー連盟(以降、SAJと呼ぶ)競技規則並びに全日本スキー技術選手権大会運営細則に準ずる。

6. 種目

競技種目は特定非営利活動法人全日本聴覚障害スキー指導員会の理事会の承認を得て決定し、同法人のホームページに告知する。但し、競技種目の設定は、次の各号に掲げる事項を基本として行う。

- ① 競技種目数は、原則として5種目とする。
- ② 競技種目は、回転弧の大きさ、斜面状況、技法の観点から設定し、各々に適合する技術を駆使して演技を行えるものとする。

競技種目 : 個人競技5種目

- ① パラレルターン大回り・整地
- ② パラレルターン中回り・整地
- ③ パラレルターン小回り・整地
- ④ パラレルターン小回り・不整地
- ⑤ 総合滑降

※ 雪の状況・天候等により、競技バーン及び時間、種目を変更する場合がある。

7. 出場資格

スキーを愛好する聴覚障害者なら誰でも参加できる。(ろうあ団体法人会員等の制限はなし)また、聴覚障害者と交流できる聴者の参加も認める。なお、以下の条件を満たす者であること。

- ① SAJバッジテスト2級以上またはこれと同等以上の技術を有する者
- ② スポーツ傷害保険またはこれに準ずる傷害保険又は、賠償保険に加入済みの者

8. 競技方法

- ① 設定された競技条件や斜面状況を総合的に判断し、ターン弧の大きさやスピードを調整する技術を競う競技とする。
- ② 審判方法は5審3採用方式による公開表示とする。
- ③ 各競技種目は、男女別に種目毎にローテーションを行なう。
- ④ 総合成績の順位は、各競技種目の得点合計によって競技区分別に順位を決める。

9. 競技規則

- ① 競技者は種目別にスタート地点に集合し、スタート審判の合図によりスタートしなければならない。
- ② 転倒した場合でもゴールまで滑り、競技を終えなければならない。
- ③ ゴールエリア内にて確実に停止をしなければならない。(ゴールエリア外で停止した場合は1点減点とする。)
- ④ スタート順は、競技者の着けているゼッケン順とするが、競技種目のローテーションは、男子1種目5人毎に、女子は1種目2人毎に交代してスタートとする。

10. 採点方法及び基準

次の各号に掲げる要領により行う。

- (1) 審判員5名がそれぞれ採点する得点数の公開表示とする。
- (2) 得点方式は、各種目を100点満点とした減点法で採点し、得点は最高点と最低点をカットした3審判の合計点とする。(5審3採)
- (3) 採点基準SAJスキーバッジテスト基準及び実施要領1. プライズテスト、2. 級別テストの採点基準に準ずる。

11. 表彰

総合成績(年齢にかかわらず)・マスターズ(男子45歳以上、女子40歳以上)の部ともに、男女別に個人競技6種目総合得点の上位から1～3位までは賞状と副賞(メダル・協賛賞品)を、4～6位には賞状と副賞(協賛賞品)を授与する。なお、参加者全員に参加賞を配布する。

12. その他

- ① 応急措置については、応急手当のみ行いその他責任を負わない。
- ② 天候不順の場合は、審判の判断によりこれまでに成立した競技種目の終了をもって競技の成立とする。
- ③ その他の事項については、当該年度の大会申合せ事項による。

13. 大会申合せ事項

なし

第11回 全日本聴覚障害スキー技術選手権大会

競技役員

(敬称略)

大会委員長	中田 晃敏
主審	土師 比佐夫 (S A J 公認A級検定員)
審判員	中田 晃敏 (S A J 公認B級検定員)
	松宮 成介 (S A J 公認B級検定員)
	呉竹 正人 (S A J 公認B級検定員)
	土師 桂子 (S A J 公認B級検定員)
スタート係	吉澤 有布
記録・集計員	星 ひろみ
手話通訳担当	松宮 成介、 右手 秀明

日程・会場

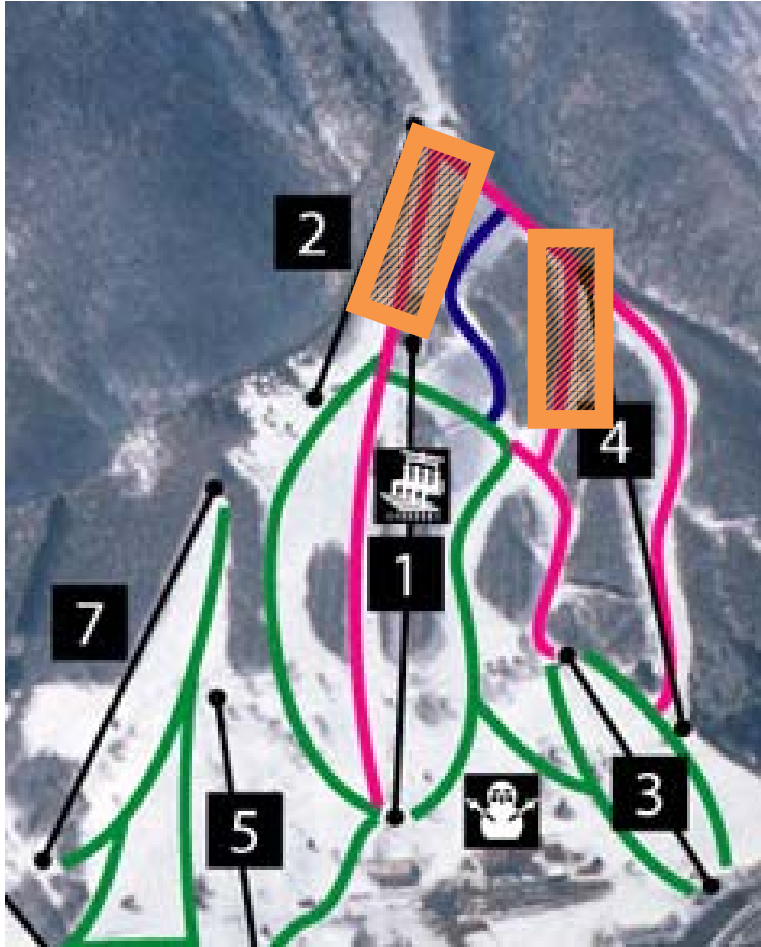
【日程】

月日	時 間	内 容	会 場
2 月 23 日 (土)	17:30～ 18:00	受付開始（代理受付可） ※当日申し込み受付可	アスティくろひめ
	18:00～	夕食	
	夕食後 18:00頃～	引き続き受付（代理受付可） ※当日申し込み受付可	
	19:15～	開会式・公開ドロー	
		交流会（第10回 東京デフスキークラブ杯ポール大会との合同開催）	
2 月 24 日 (日)	7:30～ 8:00	当日参加申込受付（ゼッケンは最後となります）	イエローガーデン
	8:50	スタート地点に集合・点呼	（競技バーン）
	9:00～	競技開始 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> 競技種目：個人競技5種目 （競技種目は順不同） ・パラレルターン大回り・整地 ・パラレルターン中回り・整地 ・パラレルターン小回り・整地 ・パラレルターン小回り・不整地 ・総合滑降 </div>	黒姫高原スノーパーク しらかばゲレンデ他
	～12:30(予定)	競技終了	
	競技終了後	ゲレンデで各自昼食	
	16:00～	閉会式&表彰式	アスティくろひめ

※ 雪の状況・天候等により、競技バーン及び時間、種目変更もありますので、ご了承下さい。

【会場】

〒389-1303 長野県上水内郡信濃町大字野尻 3807 黒姫高原スノーパーク



大会使用バーン … しらかばゲレンデ上中部、レルヒゲレンデ中部 他

開会式・閉会式

【 開会式次第 】 2/23 (土) 19:15~

司会者 工藤千夏、 幸田卓巳

1. 開 会 宣 言 NPO法人全日本聴覚障害スキー指導員会 理 事 岡田 知浩
2. 大会委員長挨拶 NPO法人全日本聴覚障害スキー指導員会 副会長 中田 晃敏
3. 会 長 挨 拶 NPO法人全日本聴覚障害スキー指導員会 会 長 土師比佐夫
4. 協力団体挨拶 東京デフスキークラブ 会 長 栗野 達人
5. 注 意 等 連 絡 NPO法人全日本聴覚障害スキー指導員会 理 事 星 ひろみ
6. 審判員の紹介 司会
7. ドロー抽選会 司会

【 閉会式（表彰式）次第 】 2/24 (日) 16:00~

司会者 工藤千夏、 幸田卓巳

1. 講 評 主審 土師比佐夫
2. 成 績 発 表 NPO法人全日本聴覚障害スキー指導員会 理 事 星 ひろみ
3. 表 彰 NPO法人全日本聴覚障害スキー指導員会 会 長 土師比佐夫
4. 挨 拶 NPO法人全日本聴覚障害スキー指導員会 副会長 中田 晃敏
5. 閉 会 宣 言 NPO法人全日本聴覚障害スキー指導員会 理 事 岡田 知浩
6. 記念写真撮影 全員